

会計名 一般会計			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがいづくり						
	目的	いきいきクラブ活動等を通じて、高齢者の生きがいづくりと社会参加を促進するとともに、心と身体の健康づくりを推進する。	主たる内容	○いきいきクラブ連合会及び単位クラブへ補助金の交付 ○高齢者を対象としたスポーツ大会や世代間交流行事等の実施					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
			根拠法令						
		対象者	クラブ会員および60歳以上の高齢者	事業期間	昭和56年度～				
		実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（55クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会 中止</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会 中止</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園 中止</li> <li>簡易健康度評価 中止</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（54クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会 中止</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会 中止</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園 中止</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>いきいきクラブ連合会及び単位クラブ（53クラブ）へ補助金の交付</li> <li>ゲートボール大会</li> <li>グラウンド・ゴルフ大会</li> <li>おじいちゃんとおばあちゃんで行く東山動植物園</li> <li>簡易健康度評価</li> </ul>	
成果		いきいきクラブ連合会及び各単位クラブへ補助金を交付し、活動を支援することで、自主的に様々な活動を企画運営することができ、会員の生きがいと健康づくりを推進することができた。 高齢者を対象としたスポーツ大会の開催や世代間交流を図る行事等により、高齢者の生きがいと健康づくりを推進することができた。							
課題		単位クラブの会員数は年々減少しており、活動内容の見直しや加入勧奨に工夫をし、会員増を図る必要がある。参加者が少ない行事については、参加を呼びかける努力をするとともに、事業内容について見直す必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		いきいきクラブ加入者数（人）		6,972	6,741	6,363	6,400	—	
活動指標		いきいきクラブ加入率（%）		18.7	17.9	16.7	17.0	—	
他市との比較検証		近隣市においても、委託ではなく老人クラブ連合会の事業として補助する形で、同じような内容の事業を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,278	6,075	6,001	7,449	合計	6,001,031 円	
	財源	特定財源	1,846	1,583	1,551	1,711	委託料	87,669 円	
		一般財源	5,432	4,492	4,450	5,738	負担金、補助及び交付金	5,913,362 円	
	職員人件費 ②		6,007	3,584	3,331	3,485			
	総事業費（①+②）		13,285	9,659	9,332	10,934			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		いきいきクラブ連合会補助金（県）					
5年度以降の事業費見込		0		いきいきクラブ補助金（県）					

会計名			高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	高齢者が自分の住んでいる地域で、仲間づくりや生きがいと健康づくりができるいきいきクラブの役割は重要であり、必要度は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	補助金を交付することにより、連合会及び単位クラブの活動の活性化を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	各単位クラブが主体となって様々な活動を行うことにより、市が主体となってはできないような、地域の実情に合ったきめ細かい対応ができるため、市としては補助金を交付して各クラブの活動を支援する方法が適切である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	いきいきクラブの活動を活性化することにより、総合計画の目標である、高齢者の社会参加・生きがいづくりを達成することができる。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
いきいきクラブの会員数は全国的に減少傾向にあり、特に60歳代の若年高齢者の加入率が低い。これは、定年の延長により引き続き就労する方や、自分なりのライフスタイルを持っている方が多くなっていることが一因である。一方で、更に進行する高齢化社会においては介護予防や地域支援事業の枠組みの中で、高齢者の生きがいと健康づくりの推進を図るための主要な方法としていきいきクラブ活動には大きな期待が寄せられているため、いきいきクラブ連合会及び単位クラブにおいて、会員の増加を目指してより魅力的な活動内容を検討する。					

会計名 一般会計			地域介護等推進事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	家庭介護や認知症についての正しい知識を学ぶ機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して暮らすことができる家庭、地域づくりを推進する。			主たる内容	○家庭介護教室の開催 ○認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ講座の開催 認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る「認知症サポーター」を養成する。また、ステップアップ講座により、地域で自主的に活動できるサポーターを育成する。 ○認知症に関するパンフレットの作成 民生委員や地域包括支援センター等を通じて啓発を行う。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	位置づけ 根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	平成19年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 19回 841人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 38人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ3日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 10回 453人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 27人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 12回 457人 個人 3回 63人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 46人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		・家庭介護教室の開催 年3回、延べ4日間 ・認知症サポーター養成講座 団体 24回 796人 個人 3回 75人 ・認知症サポーターステップアップ講座 1回 70人 ・窓口及び施設におけるパンフレット等の配布		
成果		専門家による講演、演習により、家庭介護に必要な基本的な知識、技術を身につける機会を提供できた。地域包括支援センターの協力により、地道な広報活動を続けてきた結果、各種団体や民間企業など、様々な方面から受講希望が集まるようになった。また、平成24年度から小学校及び中学校でのサポーター養成講座の開催を働きかけ、子どものうちから認知症に対する理解を深める機会を設けることができた。								
課題		コロナウイルス感染症拡大防止のため、家庭介護教室について予定どおりの講座数を開催できなかった。認知症高齢者は増加しており、その家族や地域等への周知や予防啓発は重要であるため、より一層の周知啓発が必要である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	認知症サポーター養成講座受講者累計数（人）				9,656	10,109	10,629	11,500	12,000	
活動指標	家庭介護教室参加者数（人）				71	37	44	50	50	
他市との比較検証	他市においても、愛知県市町村振興協会の同事業を活用して、同様の研修会を実施している。									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		163	83	229	623	合計 228,975 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 22,000 円			
		一般財源	163	83	229	623	需用費 158,790 円			
	職員人件費 ②		2,542	2,539	2,574	1,970	使用料及び賃借料 48,185 円			
	総事業費（①+②）		2,705	2,622	2,803	2,593				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0								
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			地域介護等推進事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	家庭における介護や認知症に関する正しい知識を身に付ける機会を提供し、要介護者や認知症高齢者が安心して生活できる家庭や地域づくりを推進することは必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	様々な分野の専門職による実践的な講義や演習は効果的である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	要介護者や認知症高齢者等を介護する家族に対して、介護方法や認知症に関する知識を身に付けるための場を提供することは、市が主体となって実施すべき施策として総合計画にも位置付けられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	介護や認知症に関して正しい知識を身に付けることは、介護予防の増進にもつながる。
	今後の方向性			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
認知症サポーター養成講座の既受講者を対象として、より詳細で実用的な知識や技能を習得することを目的としたステップアップ講座を開催することにより、認知症高齢者に対する支援体制を充実させる。					

会計名 一般会計			介護職の魅力向上事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護に関する理解を深めることで、介護職への関心を喚起し、介護人材の参入促進を図る。			主たる内容	刈谷わんさか祭り等のイベントに出展し、介護や介護の仕事の魅力に関する情報発信や周知活動を行う。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	令和3年度～令和4年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
BDO 事業実績 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
	—		—		・イベント出展 中止 ・介護職啓発物品の配布		・イベント出展 刈谷わんさか祭り 福祉健康フェスティバル ・介護職啓発物品の配布		
	成果	感染症予防対策のため各種イベントが中止される中、スポーツリーグの会場を活用し、介護職の魅力向上のための情報発信や周知活動を実施したことにより、介護人材の参入促進と将来における安定的な介護サービスの提供に向けた支援を行った。							
	課題	感染症予防対策のため各種イベントが中止されたため、情報発信や周知活動が予定通り実施できなかった。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	イベント出展回数（回）			—	—	0	2		
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	79	342	合計	79,200 円	
	財源	特定財源	0	0	59	256	需用費	79,200 円	
		一般財源	0	0	20	86			
	職員人件費 ②		0	0	76	76			
	総事業費（①+②）		0	0	155	418			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		介護普及啓発事業費補助金（県）			
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			<b>介護職の魅力向上事業</b>	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	介護保険制度施行後、要介護（要支援）認定者数の増加とともにサービス量も増加していることから、介護人材の確保は喫緊の課題となっている。労働力人口は減少しており、人材の確保は厳しい状況が続いている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱に基づく、補助対象事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	地域住民等に対して、介護や介護の仕事の魅力・やりがいを普及啓発し、介護に関する理解を深めることにより、参入促進を図ることを目的とした事業であり、市が主体となって実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	介護職への関心を喚起し、イメージアップ等を通じて介護人材の確保を図ることで、将来における安定的なサービス提供に向けた支援を行うことができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢化の進行に伴い、介護人材の確保・育成・定着は急務であり、今後も介護職に対するニーズは高まることが予測されるため、継続して事業を実施し、介護職への関心を喚起するとともに、入職者のすそ野を広げ、人材の参入促進を図る。					

会計名 一般会計			介護人材確保・育成支援事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護人材の確保・育成・定着の取組を促進することで、本市の安定的な介護保険制度の運営を図る。				主たる内容	○介護に関する入門的研修を実施する。 ○介護職員初任者研修の資格取得及び主任介護支援専門員の資格取得・更新に必要な研修に係る費用に対して、補助金を交付する。		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	主任介護支援専門員研修費補助金交付要綱、介護職員初任者研修費補助金交付要綱							
	対象者	刈谷市在住、在勤、在学の方 他				事業期間	令和3年度 ~ 令和4年度		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
						・介護に関する入門的研修参加者 17人 ・介護職員初任者研修の資格に対する補助 0件 ・主任介護支援専門員研修の資格に対する補助 5件		・介護に関する入門的研修参加者 20人 ・介護職員初任者研修の資格に対する補助 15件 ・主任介護支援専門員研修の資格に対する補助 10件	
成果		新たに更新研修を補助対象に加え、制度の充実を図り、より一層の活用に向けた周知を行った。また、入門的研修を実施することで、介護職への関心を喚起し、介護人材の確保・育成・定着に向けた取組支援と介護保険制度の安定的な運営に繋げることができた。							
課題		新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う研修の受講控え等により、目標利用者数を下回ることとなった。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	制度利用者数（人）			—	—	22	45		
活動指標									
O 実施	他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	668	1,571	合計	667,990 円	
	財源	特定財源	0	0	500	990	委託料	484,440 円	
		一般財源	0	0	168	581	使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金	41,550 円 142,000 円	
	職員人件費 ②		0	0	76	76			
	総事業費（①+②）		0	0	744	1,647			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		介護普及啓発事業費補助金（県）					
5年度以降の事業費見込		0		介護人材資質向上事業費補助金（県）					

会計名			介護人材確保・育成支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護保険企画係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	介護保険制度施行後、要介護（要支援）認定者数の増加とともにサービス量も増加していることから、介護人材の確保やより専門性の高い介護人材の育成が喫緊の課題となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	愛知県地域医療介護総合確保基金事業（介護従事者確保分）補助金交付要綱に基づく、補助対象事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上を促進することを目的とした事業であり、安定的な介護保険制度の運営を図るため、市が主体となって実施すべきものである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	新たな介護人材の確保、介護職員の離職率の低減及び資質の向上は、安定的な介護保険制度の運営と介護サービスの充実に繋がるものである。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢化の進行に伴い、介護人材の確保・育成・定着は急務であり、今後も介護職に対するニーズは高まることが予測されるため、継続して事業を実施し、介護職への関心を喚起するとともに、入職者のすそ野を広げ、人材の参入促進と資質の向上、育成支援を図る。					



会計名							担当部	福祉健康部		
一般会計			高齢者日常生活支援事業				担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	高齢福祉係		
3	1	3								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の日常生活を支援し、福祉の増進を図る。			主たる内容	○携帯型緊急通報機器の貸与 ○固定型緊急通報システムの設置 ○声の訪問の実施 ○日常生活用具の給付 ○家具転倒防止器具の取付 ○布団乾燥等の実施 ○友愛訪問の実施				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	根拠法令	刈谷市在宅高齢者見守り安心事業実施要綱、刈谷市緊急通報システム設置事業実施要綱 他								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	昭和60年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		・固定型緊急通報システム 534人 ・声の訪問 54人 ・福祉電話 19人 ・日常生活用具 5人 ・家具転倒防止器具 4世帯 ・布団乾燥等 121人 ・友愛訪問 6人		・固定型緊急通報システム 544人 ・声の訪問 39人 ・福祉電話 11人 ・日常生活用具 5人 ・家具転倒防止器具 2世帯 ・布団乾燥等 108人 ・友愛訪問 8人		・固定型緊急通報システム 566人 ・声の訪問 43人 ・福祉電話 11人 ・日常生活用具 15人 ・家具転倒防止器具 4世帯 ・布団乾燥等 90人 ・友愛訪問 3人		・携帯型緊急通報機器 533人 ・固定型緊急通報システム 55人 ・声の訪問 50人 ・日常生活用具 36人 ・家具転倒防止器具 7世帯 ・布団乾燥等 155人 ・友愛訪問 10人		
成果		ひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯等が安全に安心して生活できるよう、日常生活の支援となる各種福祉サービスを提供し、福祉の増進を図ることができた。								
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者の増加が見込まれるため、より一層の周知啓発が必要である。								
指標名称（単位）					実績値		目標値			
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	携帯型緊急通報機器・固定型緊急通報システム利用者数（人）				534	544	566	588	610	
活動指標	布団乾燥等利用者数（人）				121	108	90	155	160	
他市との比較検証										
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費①		18,406	18,173	19,307	24,745	合計	19,306,561円		
	財源	特定財源	91	78	72	117	報償費	23,250円		
		一般財源	18,315	18,095	19,235	24,628	委託料	18,516,996円		
	職員人件費②		5,006	5,152	5,224	5,378	使用料及び賃借料	249,638円		
	総事業費（①+②）		23,412	23,325	24,531	30,123	扶助費	516,677円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			高年齢者日常生活支援事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	高齢福祉係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯は、急病や事故等の緊急時に不安を抱えている方が多く、見守りや事故防止につながる生活支援や緊急通報システムはニーズが高い。令和4年度は携帯型緊急通報機器を導入し更に高齢者の見守り支援の強化を図る。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	火気取扱いや布団乾燥など、高齢者では扱いが難しい動作について、事故の無いようにフォローできる事業であるが、利用のきっかけがケアマネや民生委員、包括支援センター等職員の勧めであることが多く、他者の客観的介入が必要と思われる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	高齢者が住み慣れた地域で長く在宅で生活するため、サービスの充実を図り市が実施すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	刈谷市高齢者福祉計画に基づき、高齢者が住みなれた地域や家庭で生活を営めるよう、在宅生活を支援するための事業として実施している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齢化の進行にともない、今後ますますニーズは高まると予測されるため、継続して事業を実施する。					

会計名 一般会計			高齡者タクシー助成事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者世帯への生活支援						
	目的	高齡者に対し、タクシー料金の一部を助成することにより、外出及び医療機関への通院等を支援し、福祉の増進を図る。		主たる内容	○高齡者タクシー 要支援2以上、かつ、市民税非課税世帯の65歳以上の高齡者に対し、タクシー料金助成利用券（上限780円）を一月当たり3枚交付する。 ○介護タクシー 要介護1以上、かつ、特殊車両の必要な65歳以上の高齡者に対し、車椅子昇降機付き車両又は寝台付車両のタクシー料金助成利用券（上限4,270円）を一月当たり3枚交付する。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市高齡者タクシー料金助成事業実施要綱、刈谷市介護タクシー料金助成事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成14年度～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 189人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 333人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 198人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 309人		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 249人 ※有料老人ホーム及びサービス付き高齡者向け住宅等の入所者を新たに助成対象とした。 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 398人 ※タクシー利用券を使用できる目的地の制限を廃止した。		・高齡者タクシー料金助成利用券交付人数 328人 ・介護タクシー料金助成利用券交付人数 519人	
成果		タクシー料金助成利用券の交付により、外出が必要であってもその手段がない状況の解消を図ることができた。							
課題		高齡化の進行に伴い交付人数の増加を見込んだが、高齡化率に比例して交付人数は増えていないため、高齡者の問題として移動が困難な事があげられる中、より一層の周知に努め、助成に繋がるようにする必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		高齡者タクシー料金助成利用券利用率（%）		64.7	58.6	57.3	60.0	60.0	
活動指標		介護タクシー料金助成利用券利用率（%）		32.9	31.0	31.5	35.0	35.0	
他市との比較検証		県内約半数の市で同様の事業を実施している。 1回の乗車につき1枚の利用に制限している市が多い。							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		13,809	12,843	16,746	20,628	合計	16,745,760 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	650,100 円	
		一般財源	13,809	12,843	16,746	20,628	役務費	172,000 円	
	職員人件費 ②		2,388	1,568	1,590	1,742	扶助費	15,923,660 円	
	総事業費（①+②）		16,197	14,411	18,336	22,370			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			高齡者タクシー助成事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	高齡者の医療機関への通院を支援するとともに、閉じこもり防止、買い物等生活におけるの移動手段としても重要な事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	タクシーの事業所等と連携し、高齡車の移動手段の確保として有効な事業である。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	総合計画において、安心安全に移動できる交通移動環境の形成を目指し、交通弱者の移動支援の充実を課題認識されている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	在宅で要支援2以上且つ非課税世帯が対象要件のためか、換金率が高齡者タクシーで60%、介護タクシーで30%弱と低いが、必要な人にはなくてはならない制度である。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
高齡者の移動手段として継続するものの、普通タクシーと介護タクシーなど車種により補助額の違いがあるため、今後タクシー業界の業務車の動向により、補助額の検討を要す。また、総合事業が始まった事で、対象要件を要支援2以上から要介護に変える事も検討を要す。					

会計名 一般会計			住宅改善費等補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護認定給付係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できるように住宅改善費等の一部を補助することにより、高齢者の自立支援及び介護者の負担軽減を図る。			主たる内容	○住宅改善費 要介護認定者等の住宅改善費用が介護保険上限額（20万円）を超えた場合に、超えた費用の一部を補助する。 ○介護支援ベッド貸与利用料 離床動作が困難な軽度（要支援1・2、要介護1）の要介護認定者等へ、介護支援ベッドの貸与利用料の一部を補助する。 ○住宅バリアフリー化工事費 要介護認定等を受けていない高齢者の住宅バリアフリー化工事費の一部を補助する。（上限額10万円）			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市住宅改善費補助金交付要綱 刈谷市高齢者住宅バリアフリー化工事費補助金交付要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・住宅改善費 補助人数 156人 補助金額 16,512,705円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 190人 補助金額 5,076,660円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 4人 補助金額 321,442円		・住宅改善費 補助人数 186人 補助金額 16,818,342円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 187人 補助金額 5,581,671円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 33人 補助金額 2,737,908円		・住宅改善費 補助人数 156人 補助金額 17,156,510円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 173人 補助金額 4,960,230円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 43人 補助金額 3,863,154円		・住宅改善費 補助人数 182人 補助金額 18,480,000円 ・介護支援ベッド貸与利用料 補助人数 213人 補助金額 6,040,000円 ・住宅バリアフリー化工事費 補助人数 53人 補助金額 4,320,000円	
成果		高齢者が住み慣れた自宅で安心して生活できる住環境が整えられた。							
課題		高齢化率の上昇に伴う補助人数及び補助額の増加に対する適切な審査と予算執行を行う必要がある。							
活動指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
活動指標	住宅改善費補助人数（人）		元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	住宅バリアフリー化工事費補助人数（人）		156	186	156	182	182		
他市との比較検証	住宅改善費補助は、西三河9市すべてで実施しており、補助上限額や補助対象者の抽出方法については、市町村独自の算定により事業を展開している。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①	22,005	25,308	26,156	29,076	合計 26,155,894 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 26,155,894 円		
		一般財源	22,005	25,308	26,156	29,076			
	職員人件費 ②	2,002	224	227	227				
	総事業費（①+②）	24,007	25,532	26,383	29,303				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
	3年度までの累積事業費		0						
	5年度以降の事業費見込		0						

会計名			住宅改善費等補助事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	介護認定給付係
3	1	3			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	住宅改善費等補助は介護保険の給付対象を超えた住宅改修費に対する補助であるが、高齢化率及び介護保険申請件数の上昇にも関連し、市民ニーズは高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	住宅改善費補助では、介護保険給付と市補助金をまとめて申請できるようにするなど、申請者の利便性と事務の効率化が図られている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	介護保険サービスに係わる事業のため、保険者の市が実施すべき事業である。 高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して暮らせるよう総合計画で介護サービスの充実を図る上で必要な事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	自宅で安心して暮らすために必要な住環境が整えられており、介護サービスの充実に大きく貢献している。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	住宅改善費等補助は、高齢化が進む中、第5期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画の重点課題である地域包括ケアシステムの推進施策である高齢者の住まいの整備を促進するため、平成25年6月より補助対象改修費の上限額を10万円から20万円に拡充すると同時に、100%であった補助率を介護保険の給付率に合わせて自己負担も求め補助制度の適正化を図った。 令和3年度からの第8期刈谷市介護保険事業計画・高齢者福祉計画においても、安心な生活環境の整備として高齢者に配慮した住まいの充実を掲げており、継続して事業を実施していく。				

会計名 一般会計		特別養護老人ホーム等ユニット化改修等支				担当部	福祉健康部	
款 項 目 3 1 3		援事業				担当課	長寿課	
						担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	介護サービスの充実					
	目的	介護施設の居住環境の質を向上させることで、高齢者の福祉増進・介護サービスの質の向上を図る。			主たる内容	特別養護老人ホームにおける多床室のプライバシー保護のために必要となる改修経費に対して補助金を交付する。		
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
	根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
	対象者	介護サービス事業者		事業期間	令和3年度 ~ 令和3年度			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画
		_____		_____		・補助件数 1件		_____
成果		介護施設の居住環境の向上を目的として、多床室のプライバシー保護のための改修を実施する特別養護老人ホームに対し、補助金を支給することで経費に対する支援を行い、介護サービス提供体制の整備を促進した。						
課題								
指標名称（単位）				実績値		目標値		
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
成果指標	補助件数（件）				—	1	—	—
活動指標								
O 実施	他市との比較検証							
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	73,400	0	合計 73,400,000 円	
	財源	特定財源	0	0	73,400	0	負担金、補助及び交付金 73,400,000 円	
		一般財源	0	0	0	0		
	職員人件費 ②		0	0	76	0		
	総事業費（①+②）		0	0	73,476	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称		
3年度までの累積事業費		0		特別養護老人ホーム等ユニット化改修等支援事業費補助金（県）				
5年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			特別養護老人ホーム等ユニット化改修等支 援事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	介護施設における居住環境の整備や改修は、施設利用者の利便性を高めるとともに、福祉の増進と介護サービスの質の向上も図られるものであり、地域の実情に応じた介護サービス提供体制を整備するためにも必要なものである。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱に基づく、補助対象事業である。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域の介護施設において、質の高いサービスを提供するための居住環境の整備や改修等を支援することにより、地域の実情に応じた介護サービス提供体制の整備促進することを目的としており、市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	改修に必要な経費に対して補助金を交付することで、施設の居住環境が向上し、介護サービスの質の向上に繋がるものである。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後、介護施設等の整備・改修状況と必要性を踏まえ、愛知県の補助金交付要綱と照会しつつ判断することになる。						



会計名 一般会計		介護施設新型コロナウイルス感染拡大防止 対策支援事業				担当部	福祉健康部	
款	項					目	担当課	長寿課
3	1	3	担当係		介護保険企画係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全					
		基本施策	高齢者福祉					
		施策の内容	介護サービスの充実					
	目的	感染症のまん延等不測の事態に備え、事業者に対する感染症対策のための支援を行うことで、介護サービスの継続的な提供体制を確保する。		主たる内容	○感染症のまん延等により介護サービス事業者において必要となる物品の配布や不測の事態に備えた備蓄品を確保する。 ○介護施設等の居室における簡易陰圧装置の設置に必要な経費や実際に感染者が発生した施設の消毒に係る費用に対して、補助金を交付する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
	位置づけ 根拠法令	愛知県介護施設等整備事業費補助金交付要綱						
	対象者	介護サービス事業者		事業期間	令和2年度 ~ 令和3年度			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画
		_____		・感染防止対策物品の配布 消毒液、使い捨て手袋、 非接触型体温計等 ・消毒経費に対する補助 補助件数 5件 補助金額 1,299千円 ・簡易陰圧装置の設置経費に 対する補助 補助件数 1件 補助金額 2,516千円		・感染防止対策物品の備蓄 防護服、アイシールド、 マスク ・簡易陰圧装置の設置経費に 対する補助 補助件数 1件 補助金額 649千円 ※消毒経費に対する補助は県 への直接申請に変更		_____
成果		不測の事態に備え、感染防止対策物品を備蓄するとともに、陰圧装置の設置費補助を通じて、介護サービス事業所に対する支援を行うことができた。						
課題								
指標名称（単位）			実績値		目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	簡易陰圧装置設置費補助件数（件）		—	1	1	—	—	
活動指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	7,212	843	0	合計	843,029 円
	財源	特定財源	0	3,815	649	0	需用費	194,029 円
		一般財源	0	3,397	194	0	負担金、補助及び交付金	649,000 円
	職員人件費 ②		0	75	76	0		
	総事業費（①+②）		0	7,287	919	0		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称		
3年度までの累積事業費		0		介護施設新型コロナウイルス感染拡大防止対策支援事業費補助金（県）				
5年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			介護施設新型コロナウイルス感染拡大防止 対策支援事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービス事業所に対する支援であり、社会的需要は非常に高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	簡易陰圧装置、消毒経費については県の補助制度に基づくものである。感染対策物品の備蓄及び配布は市単独の事業であるが、感染拡大防止に直結するものであり、その必要性は高い。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であるため、市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	介護サービスの提供継続を支援することで、利用者へのサービス供給の安定化を図る支援ができた。	
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止			
まん延当初において、各事業者が感染防止対策物品を入手することは容易でなかったことから、急を要する場合のみ、マスクや手袋等を備蓄品より提供してきた。しかし、感染防止対策物品の市場への流通が回復し、安定的な入手が可能となったことから、事業の継続を検討した結果、令和4年度から廃止することとした。						

会計名 一般会計		新型コロナウイルス濃厚接触者等介護サー				担当部	福祉健康部			
款 項 目		ビス提供継続支援事業				担当課	長寿課			
3	1	3					担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	介護サービスの充実							
	目的	新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等に特定された方に対して、必要な介護サービスが継続して提供されることを目的とする。			主たる内容		濃厚接触者等になった人に、介護サービスを継続して提供した介護サービス事業所に対して、濃厚接触者等1人当たり10万円の基本額とサービス提供日数に応じた加算額を支援金として交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市新型コロナウイルス濃厚接触者等介護・障害福祉サービス提供継続支援金交付要綱							
		対象者	介護サービス事業者	事業期間	令和2年度 ~ 令和3年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		—		・訪問系サービス事業所への補助 6件		・訪問系サービス事業所への補助 7件 ・施設系サービス事業所への補助 4件		※高齢者施設等感染症対策支援事業に移行		
成果		介護を必要とする濃厚接触者等に対して、介護サービスが止まることなく継続して提供されることに対する支援を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		補助件数（件）			—	6	11	—	—	
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	2,640	3,348	0	合計 3,348,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 3,348,000 円			
		一般財源	0	2,640	3,348	0				
	職員人件費 ②		0	75	76	0				
	総事業費（①+②）		0	2,715	3,424	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			新型コロナウイルス濃厚接触者等介護サー ビス提供継続支援事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービス事業所に対する支援であり、かつ介護サービス利用者に対するサービス提供継続の支援であるため、社会的需要は非常に高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	新型コロナウイルス感染症対策に係る経費の支援であり、他市や県の補助制度等を参考に補助額を設定した。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続を支援し、サービス利用者へのサービス提供の安定化を図るために必要な事業であり、市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	介護を必要とする濃厚接触者等に対して、サービスが途切れることなく継続して提供するという目的を達成できた。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後の感染症の状況を踏まえ判断することになる。						

会計名 一般会計		介護サービス利用継続PCR等検査費補助				担当部	福祉健康部		
款	項	目	事業			担当課	長寿課		
3	1	3				担当係	介護保険企画係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び必要な介護サービスが継続して提供されることを目的とする。			主たる内容	○事業者補助 介護サービス事業所において感染者が発生した場合等に、行政検査に該当せず事業者負担により受検したPCR等検査の費用を補助する。 ・補助率 2分の1 ○個人補助 同居家族が感染者となった場合等、被保険者の利用しているサービスの利用継続や新たなサービスを受けるため受検したPCR等検査の費用を補助する。 ・補助率 10分の10			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市介護・障害福祉サービス利用継続PCR等検査費補助金交付要綱							
	対象者	介護サービス事業者、介護サービス利用者		事業期間	令和2年度～令和3年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		—		・事業所 補助件数 6件 補助金額 48千円 ・個人 補助件数 2件 補助金額 33千円		・事業所 補助件数 139件 補助金額 1,245千円 ・個人 補助件数 1件 補助金額 17千円		※高齢者施設等感染症対策支援事業に移行	
成果		新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止、サービス利用者の介護サービスの継続利用の支援及び事業所のサービス提供継続を支援することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標	補助件数（件）			—	8	140	—	—	
活動指標									
他市との比較検証	安城市、知立市において事業所の向けの補助制度を設けている。個人を対象とした補助制度は近隣では刈谷市のみである。								
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	81	1,262	0	合計 1,261,500 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 1,261,500 円		
		一般財源	0	81	1,262	0			
	職員人件費 ②		0	75	76	0			
	総事業費（①+②）		0	156	1,338	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護サービス利用継続PCR等検査費補助 事業		担当部	福祉健康部
款	項	目			担当課	長寿課
3	1	3			担当係	介護保険企画係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価				評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続・利用継続のための判断に必要な検査に対する補助制度であり、市民ニーズ、社会的需要は非常に高い。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	事業者向けと個人向けの補助制度があり、補助率をそれぞれ設定している。事業者向けは2分の1補助とし、事業所に負担を求めている。また個人向けについては全額補助としている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	新型コロナウイルス感染症における介護サービスの提供継続・利用継続のための支援制度であり、行政検査の対象外となる検査を補助対象とし、感染拡大防止の観点から市が主体となって実施すべきものである。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	介護サービス事業所の提供継続や利用者のサービス利用の継続を判断するために必要な検査に対する補助制度である。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
今後の感染症の状況を踏まえ判断することになる。						

会計名			福祉有償運送運営協議会事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	福祉有償運送の必要性、対価が適切なものであるか等について協議し、福祉有償運送の適切な運営を図る。			主たる内容	協議会を開催し、福祉有償運送の適切な運営を図る。			
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令	刈谷市福祉有償運送運営協議会設置要綱					
		対象者	協議会委員	事業期間	平成17年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・協議会の開催 開催日 11月 8日 2月 5日		・協議会の開催 開催日 11月 6日		・協議会の開催 開催日 11月 5日		・協議会を1回以上開催	
成果		運営協議会での合意に基づき道路運送法第79条の登録をすることにより、NPOによる自家用自動車を使用した有償運送が可能となり移動制約者の移送手段を確保することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		協議会開催数（回）			2	1	1	1	1
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		122	58	58	116	合計	57,600 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	57,600 円	
		一般財源	122	58	58	116			
	職員人件費 ②		385	1,643	1,665	1,742			
	総事業費（①+②）		507	1,701	1,723	1,858			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護保険会計繰出事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護保険事業の円滑な運営を図る。		主たる内容	介護保険事業に係る介護給付費、地域支援事業費、総務費の市負担分を介護保険会計に繰り出す。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	介護保険法						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成12年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		介護給付費分：999,531,000円		介護給付費分：1,010,025,000円		介護給付費分：1,013,993,000円		介護給付費分：1,060,899,000円	
地域支援事業費分：130,327,000円		地域支援事業費分：167,696,000円		地域支援事業費分：135,003,000円		地域支援事業費分：170,207,000円			
低所得者保険料軽減分：40,619,000円		低所得者保険料軽減分：72,274,000円		低所得者保険料軽減分：74,212,000円		低所得者保険料軽減分：75,862,000円			
総務費分：231,786,000円		総務費分：247,552,000円		総務費分：247,807,000円		総務費分：268,902,000円			
計 1,402,263,000円		計 1,497,547,000円		計 1,471,015,000円		計 1,575,870,000円			
成果		介護保険法に規定されている介護給付費等の市負担分を一般会計から介護保険会計に繰り出すことで、介護保険会計の健全な運営を行うことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	繰出額（千円）			1,402,263	1,497,547	1,471,015	1,575,870	—	
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		1,402,263	1,497,547	1,471,015	1,575,870	合計 1,471,015,000円		
	財源	特定財源	29,481	54,007	55,308	56,896	繰出金 1,471,015,000円		
		一般財源	1,372,782	1,443,540	1,415,707	1,518,974			
	職員人件費②		77	75	76	76			
	総事業費（①+②）		1,402,340	1,497,622	1,471,091	1,575,946			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		低所得者保険料軽減負担金（国・県）			
5年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計			高齡者能力活用事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者の社会参加・生きがづくり						
	目的	公益社団法人刈谷市シルバー人材センターが実施する、定年退職者等に対する就業機会の確保を始めとする諸活動を支援する。			主たる内容	刈谷市シルバー人材センターに、補助金を交付する。			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画						
		根拠法令	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律						
	対象者	刈谷市シルバー人材センター			事業期間	昭和54年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付		・補助金の交付	
成果		シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齡者の能力活用及び生きがづくりを図ることができた。							
課題		経済情勢の変化にともない、企業等からの発注が減少傾向にあり、新たな就業先の確保が必要である。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標	シルバー人材センター会員数（人）			504	521	528	534	—
	指標								
他市との比較検証	近隣市の会員数（年度末時点） 令和3年度 碧南市 480人、安城市 1,096人、知立市 435人、高浜市 424人 令和2年度 碧南市 458人、安城市 1,083人、知立市 428人、高浜市 424人 会員数としてはほぼ横這いの市が多い。								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		25,098	19,075	21,029	31,223	合計 21,028,685 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 21,028,685 円		
		一般財源	25,098	19,075	21,029	31,223			
	職員人件費②		308	299	454	530			
	総事業費（①+②）		25,406	19,374	21,483	31,753			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
	3年度までの累積事業費		0						
	5年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			老人いこいの場整備運営事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	地域の高齢者の交流の場である老人いこいの場を設置・運営することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを支援する。				主たる内容	老人いこいの場の運営を各管理者に委託する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市老人いこいの場設置運営要綱					
		対象者	60歳以上の高齢者			事業期間	昭和48年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・いこいの場開設(34か所)		・いこいの場開設(34か所)		・いこいの場開設(33か所)		・いこいの場開設(33か所)	
成果		老人いこいの場を開設することにより、地域の高齢者の交流の場を提供し、相互の親睦を図るとともに、生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	いこいの場開設日数（日）			5,404	3,029	3,627	5,500	—	
活動指標	いこいの場利用者数（人）			62,101	32,265	34,718	65,000	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		3,274	3,192	3,176	3,168	合計	3,175,842円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	10,000円	
		一般財源	3,274	3,192	3,176	3,168	役務費	40,000円	
	職員人件費②		2,156	971	984	985	委託料	3,080,842円	
	総事業費（①+②）		5,430	4,163	4,160	4,153	備品購入費	45,000円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齢者スポーツ等奨励事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり							
	目的	高齢者スポーツ大会の出場選手を激励するとともに、高齢者スポーツの振興を図る。			主たる内容	県代表として、全国福祉祭等の高齢者スポーツ大会の全国大会に出場する選手に対し、激励金を交付する。				
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画 根拠法令								
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		和歌山大会：4人		岐阜大会：中止		岐阜大会：中止		神奈川大会：10人		
		成果								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
成果指標		高齢者スポーツ大会出場者数（人）			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
指標				4	-	-	10	-		
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		40	0	0	120	合計 0円			
	財源	特定財源	0	0	0	0				
		一般財源	40	0	0	120				
	職員人件費 ②		1,078	896	908	985				
	総事業費（①+②）		1,118	896	908	1,105				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0								
5年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			敬老金等支給事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	3					担当係	管理係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり								
	目的	多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行う。			主たる内容	○各地区等で行われる敬老会事業に対する補助 ○対象者に対する記念品及び敬老金の贈呈					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
			根拠法令	刈谷市補助金交付規則、刈谷市敬老金支給要綱、刈谷市敬老会事業補助金交付要綱							
			対象者	※「B 事業実績」欄に記載			事業期間	～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画			
		・記念品（満79歳以上） 9,933人 ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 1,001人 満99歳（30,000円） 32人 満100歳以上（20,000円） 45人		・記念品（満80歳以上） 9,279人 ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 1,069人 満99歳（30,000円） 27人 満100歳以上（20,000円） 56人		・記念品（満80歳以上） ・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）		・敬老金 満87歳、満89歳、満98歳 （10,000円） 満99歳（30,000円） 満100歳以上（20,000円）			
成果		多年に渡り社会の発展に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに、各地区等への健康・長寿に対する啓発を行うことができた。									
課題											
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値		
活動指標	記念品対象者（人）				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	敬老金対象者（人）				9,933	9,279	9,864	—	—		
他市との比較検証											
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳				
	事業費 ①		24,524	24,598	26,182	29,072	合計 26,181,729 円				
	財源	特定財源	1	1	2	2	報償費 19,738,640 円				
		一般財源	24,523	24,597	26,180	29,070	需用費 168,489 円				
	職員人件費 ②		7,008	2,389	2,423	1,591	役務費 328,000 円				
	総事業費（①+②）		31,532	26,987	28,605	30,663	負担金、補助及び交付金 5,946,600 円				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称					
3年度までの累積事業費		0		市町村権限移譲交付金（県）							
5年度以降の事業費見込		0									

会計名		基幹型地域包括支援センター連携強化事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	地域包括ケアシステム構築のため、基幹型地域包括支援センター職員が行政と連携強化することで、地域ニーズに合った生活支援、介護予防施策形成につなげる。		主たる内容	基幹型地域包括支援センター職員1名が市役所長寿課で勤務し、行政との連携強化に資する業務を実施し、地域包括ケアシステム構築に取り組む。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者				事業期間	～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進した。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進する。		基幹型地域包括支援センター職員1名を、市役所長寿課に勤務させ、連携強化事業を推進する。 令和3年度に事業は廃止。		――	
成果		基幹型地域包括支援センター職員が市役所長寿課に勤務することにより、連携強化につなげることによる一定の成果がみられた。令和4年度にこれまで業務を兼務していた中央地域包括支援センターから基幹型地域包括支援センターの業務を分離し、社会福祉協議会内において独立設置、令和5年には基幹型地域包括支援センターを市庁舎へ移設を予定している。							
課題		各地域包括支援センターの調整、総括、後方支援としての役割を持つ基幹型地域包括支援センターの活用を通して、各地域包括支援センター間や関係機関との連携をより一層強化していく必要がある。							
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標	長寿課勤務職員数			1	1	1	-	-
	活動指標								
	他市との比較検証	基幹型地域包括支援センターとの連携強化を図っていく動きが他市にもみられる。							
C 事業 コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,021	3,021	3,060	0	合計	3,060,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,060,000 円	
		一般財源	3,021	3,021	3,060	0			
	職員人件費 ②		1,463	1,045	1,060	0			
	総事業費（①+②）		4,484	4,066	4,120	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			高齢者と小学生の交流促進事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生きがづくり						
	目的	高齢者がいきいきと輝く社会（多世代交流を通じた地域活動）を実現するため、高齢者に対し、子どもを対象とした地域活動への参加を促すとともに、担い手としての活躍を推進することを目的とする。		主たる内容	○多世代交流推進協議会の開催 ○地域活動の担い手の募集 ○担い手養成研修の開催 ○体験イベントの開催 ○地域の活動の実践				
	位置づけ	関連計画							
	根拠法令	高齢者がいきいきと輝くまちづくり（多世代交流を通じたシニアの活躍推進）モデル事業実施仕様書							
	対象者	※目的に記載		事業期間	令和2年度～令和4年度				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
				推進協議会の設置及び開催：2回 小学生・高齢者等へのニーズ調査の実施		推進協議会の開催：2回 モデル地区でのイベント企画検討及び開催		推進協議会の開催：2回 モデル地区でのイベント企画検討、開催及びイベント開催後の評価検証	
成果		令和3年度は、コロナウイルス感染症拡大により、モデル地区との協議も制限されたが、コロナ禍でも開催できる内容を地区の有志と検討し、井ヶ谷地区では高齢者と子どもが芋掘りをテーマにした交流イベントが開催できた。							
課題		コロナウイルス感染症拡大により、イベントの開催について地区役員の了解を得る事が難しく、実施できないモデル地区もあった。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	推進会議の実施回数（回）		—	2	2	2	2		
活動指標									
他市との比較検証	県の「高齢者がいきいきと輝くまちづくり（多世代交流を通じたシニアの活躍促進）モデル事業」を受託。受託自治体…刈谷市、蒲都市、津島市								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,324	200	1,040	合計	199,512 円	
	財源	特定財源	0	1,324	200	1,040	報償費	115,200 円	
		一般財源	0	0	0	0	需用費	6,490 円	
	職員人件費 ②		0	1,493	1,514	1,515	委託料	77,822 円	
	総事業費（①+②）		0	2,817	1,714	2,555			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		高齢者がいきいきと輝くまちづくりモデル事業委託金（県）					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			配食サービス事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	見守りが必要で、食事の支度が困難な高齢者に対し、配食サービスを提供することにより、高齢者の食の自立を支援するとともに、その安否を確認し、もって福祉の増進を図る。		主たる内容	65歳以上の高齢者のみの世帯で、隣接地に扶養義務者が居住せず、配食サービスの提供が必要であると判断された人に対し、週3回以内の夕食を配達し安否確認を行う。（カロリー・塩分制限等の必要の無い人を対象とした一般食） 利用者負担は、1食につき300円。				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市高齢者配食サービス事業実施要綱							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成8年度 ~			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		利用者数：405人 延べ利用食数：34,303食		利用者数：438人 延べ利用食数：37,166食		利用者数：451人 延べ利用食数：40,312食		利用者数：480人 延べ利用食数：42,000食	
成果		見守りの必要な高齢者世帯に対し、配達にあわせて安否確認を行い、利用者の状況等を確認することができた。また、定期的に栄養バランスのとれた食事を提供することにより、健康で自立した生活を送ることができるよう支援した。							
課題		高齢化の進行に伴い、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の増加が見込まれ、事業費も年々増加しているため、事業の総合的な見直しを検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標	配食サービス利用者数（人） （年度末時点の登録利用者数）			405	438	451	480	500	
活動指標	延べ利用食数（食）			34,303	37,166	40,312	42,000	43,000	
他市との比較検証	県内全市で同様の事業を実施している。配食サービスの実施回数は週2回から毎日実施、昼食のみや夕食のみと内容は様々である。また、1食あたりの市の補助額も半額程度補助している市や、配達費のみ補助している市がある。								
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		17,989	18,398	19,790	22,379	合計	19,789,642 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	19,789,642 円	
		一般財源	17,989	18,398	19,790	22,379			
	職員人件費 ②		2,388	1,717	1,741	1,742			
	総事業費（①+②）		20,377	20,115	21,531	24,121			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に見舞金を支給することにより、当該高齢者の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図る。	主たる内容	65歳以上で在宅のねたきり又は認知症の人に対して、月額5,000円の見舞金を支給する。見舞金は、年2回（9月、3月）に分け、口座振込の方法により支給する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金支給要綱							
	対象者	※主たる内容に記載		事業期間	昭和49年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・受給者数 前期：679人 後期：710人		・受給者数 前期：769人 後期：770人		・受給者数 前期：828人 後期：814人		・受給者数 前期：959人 後期：960人	
成果		老人福祉の理念に基づき、ねたきり高齢者等の属する世帯の身体的、精神的及び経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることができた。							
課題		高齢者数の増加に伴い、見舞金受給対象者の増加が見込まれるため、在宅ねたきり・認知症高齢者にならないための介護予防策を推進することが必要である。							
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金前期受給者数（人）	679	769	828	959	959		
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金後期受給者数（人）	710	770	814	960	960		
他市との比較検証	県内の約半数の市町村で同様の事業を実施している。 ねたきり・認知症の日常生活自立度等で判定するほか、要介護度や世帯の所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市町村もある。								
C 事業 コスト	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①	35,953	40,450	42,181	44,592	合計	42,181,464 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	46,464 円	
		一般財源	35,953	40,450	42,181	44,592	扶助費	42,135,000 円	
	職員人件費 ②	2,233	2,912	3,861	985				
	総事業費（①+②）	38,186	43,362	46,042	45,577				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							



会計名 一般会計		在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ助成事業				担当部	福祉健康部		
款	項					目	担当課	長寿課	
3	1					3	担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	在宅のねたきり又は認知症の高齢者に対し、おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の増進を図る。	主たる内容	在宅ねたきり・認知症高齢者見舞金受給者でおむつを利用している人に対し、1月当たり3,000円相当（要介護4又は5で、市民税非課税世帯の人は、1月あたり6,000円相当）のおむつ費用助成利用券を交付する。					
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成事業実施要綱							
	対象者	在宅ねたきり認知症高齢者見舞金受給者	事業期間	平成8年度～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・利用券交付者数 前期：552人 後期：548人		・利用券交付者数 前期：657人 後期：686人		・利用券交付者数 前期：698人 後期：713人		・利用券交付者数 前期：840人 後期：840人	
成果		おむつ等の購入に要する費用の一部を助成することにより、介護者の経済的負担を軽減させ、福祉の向上を図ることができた。							
課題		高齢化の進行に伴い、在宅で介護を受けるねたきり・認知症高齢者の増加が見込まれるため、今後より一層の周知に努め、在宅介護者の負担軽減につながるようにする必要がある。 また、重症化を防ぐための介護予防や自立支援の体制整備を併せて推進することも必要である。							
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券前期交付者数（人）	552	657	698	840	840		
	活動指標	在宅ねたきり・認知症高齢者おむつ費用助成利用券後期交付者数（人）	548	686	713	840	840		
他市との比較検証	県内のほとんどの市で同様の事業を実施している。 おむつを現物支給する市もあるが、大半は利用券を交付しており、金額は一月あたり2,500円～7,000円と幅がある。また、要介護認定だけでなく、所得制限（市民税等非課税）の条件を設けている市も多い。								
C 事業 コスト	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①	15,999	15,628	18,387	24,649	合計	18,386,815 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	36,000 円	
		一般財源	15,999	15,628	18,387	24,649	需用費	512,160 円	
	職員人件費 ②	2,542	2,315	1,590	1,742	役務費	731,000 円		
	総事業費（①+②）	18,541	17,943	19,977	26,391	扶助費	17,107,655 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			シルバーハウジング支援事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	3					担当係	高齢福祉係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣して生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供することにより、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活を支援する。	主たる内容	老人デイサービスセンターひまわりに生活援助員を配置し、シルバーハウジングに居住する高齢者に対し、定期的な訪問及び電話による安否確認を行うとともに、緊急通報システムにより連絡を受けた場合、すぐに駆け付けて適切な対応をする。なお、夜間及び休日は緊急通報受報業者により対応する。 生活援助員派遣手数料として、月額1,000円。 。（生活保護法による被保護者世帯及び入居者の市民税所得割が非課税の世帯に属する場合を除く。）						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市シルバーハウジング生活援助員派遣事業実施要綱							
		対象者	シルバーハウジングの入居者	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		部屋数：54戸		部屋数：54戸		部屋数：55戸		事業の性質上、計画・目標値は未設定。		
成果		シルバーハウジングに居住する高齢者に対して生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、緊急時の対応等のサービスを提供することによって、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができた。								
課題		シルバーハウジングの供給戸数を増やすことが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		シルバーハウジング部屋数（戸）			54	54	55	—	—	
指標										
他市との比較検証		県営・市営住宅のシルバーハウジングに入居している世帯のほか、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯に生活援助員を派遣している市もある。 利用者負担は無料から月4,900円まで様々である。								
C 事業コスト		単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①	10,598	12,837	12,989	15,721	合計	12,988,832 円			
	財源	特定財源	72	66	52	60	委託料	12,988,832 円		
		一般財源	10,526	12,771	12,937	15,661				
	職員人件費 ②	924	821	833	833					
	総事業費（①+②）	11,522	13,658	13,822	16,554					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		シルバーハウジング生活援助員派遣手数料						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名			生ががい活動支援通所事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者の社会参加・生ががいづくり						
	目的	在宅の高齢者に対し、通所による各種サービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上を図る。		主たる内容	おおむね65歳以上で、介護保険の要支援又は要介護認定を受けていない人で、家に閉じこもりがちな高齢者に対し、高齢者福祉センター及び東刈谷市民センターにおいて、生活支援通所サービスを提供する。 ○あつまりん ボランティアを活用し、通所型の介護予防サービスを行う。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市生ががい活動支援通所事業実施要領						
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成9年度 ~			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		実施延日数：138日 利用延人数：908人		実施延日数：115日 利用延人数：686人		実施延日数：119日 利用延人数：749人		高齢者福祉センター：月・水・金曜日開催 東刈谷市民センター：火曜日開催	
成果		通所による各種のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消、自立的生活の助長、心身機能の維持向上等を図ることができた。							
課題		高齢者の閉じこもりを予防し解消するためには、社会参加の機会を提供することが重要であるため、より一層の周知発が必要である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		生ががい活動支援通所事業実施延日数（日）			138	115	119	140	140
活動指標		生ががい活動支援通所事業利用延人数（人）			908	686	749	900	900
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		4,297	4,454	4,288	5,814	合計	4,288,079 円	
	財源	特定財源	450	343	375	1,026	委託料	4,288,079 円	
		一般財源	3,847	4,111	3,913	4,788			
	職員人件費 ②		385	1,643	1,665	1,742			
	総事業費（①+②）		4,682	6,097	5,953	7,556			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		在宅福祉事業一部負担金			
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			生活支援ハウス運営委託事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	<p>居宅において生活することに不安がある高齢者に対し、一時的な住居を提供し、併せて必要な介護サービスの利用調整をすることにより、高齢者が安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、もって高齢者の福祉の増進を図る。</p>	主たる内容	<p>市内に居住する60歳以上の高齢者に対し、住宅改修時、家族の長期入院・長期出張中又は病院・老人保健施設などから退院・退所後自宅での生活に慣れるまでの間などに、6か月以内を原則として住居を提供する。施設には生活援助員が24時間常駐し、生活に関する相談や緊急時の対応に当たる。 利用料（利用者の収入によって決定）の他、利用に伴う光熱水費や入所保証金が必要となる。</p>					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市生活支援ハウス運営事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成19年度～		
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		利用人数：4人 延べ日数：539日		利用人数：1人 延べ日数：168日		利用人数：0人 延べ日数：0日 令和3年度にて事業は廃止。		_____	
成果		年々利用者数が減少する本事業の継続について検討し令和4年度から廃止とした。また、利用対象者が刈谷市在宅高齢者ショートステイ事業において、一時的な居宅の利用ができるように制度の見直しを行った。							
課題		高齢者を取り巻く環境は日々変化しており、家族の援助を受けることが困難な高齢者に対し、必要なサービスの精査を行い、本当に必要なサービスが提供できるように検討していく。							
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標	生活支援ハウス利用人数（人）			4	1	0	—	—
他市との比較検証	県内で、春日井市、碧南市、豊田市、西尾市、新城市、田原市等が同様な事業を実施。多くが社会福祉法人に運営を委託しており、定員は7名から20名である。								
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,780	8,780	8,780	0	合計	8,780,000 円	
	財源	特定財源	366	93	0	0	委託料	8,780,000 円	
		一般財源	8,414	8,687	8,780	0			
	職員人件費 ②		924	597	606	0			
	総事業費（①+②）		9,704	9,377	9,386	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			老人ホーム入所者生活補給金支給事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齢福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	養護老人ホームに入所している高齢者に生活補給金を支給することにより、老人福祉の理念に基づいて、高齢者の福祉の増進を図る。	主たる内容	刈谷市が措置し、前月收入額が7,500円未満の入所者に対し、1人につき、生活補給金として最大月額7,500円を支給する。 養護老人ホーム入所者の病院の受診費用や日常生活品の購入などに充てる。					
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画					
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人ホーム入所者生活補給金支給事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		受給者数：7人		受給者数：7人		受給者数：8人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。	
成果		生活補給金を支給し、対象者の病院の受診費用や日常生活品の購入に充てることにより、対象者が安定した生活を送ることができた。							
課題		入居者より増額要求が度々あるが、増額根拠が無いため、補給金の性質を説明して現状を維持している。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	老人ホーム入所者生活補給金受給者数（人）		7	7	8	—	—		
指標									
他市との比較検証	養護老人ホームを持つ近隣4市（碧南、高浜、安城、知立）は皆補給金を7,500円/月としている。								
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		630	578	480	690	合計	480,000円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	480,000円	
		一般財源	630	578	480	690			
	職員人件費②		1,848	1,045	1,060	1,061			
	総事業費（①+②）		2,478	1,623	1,540	1,751			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名		在日外国人特別給付事業				担当部	福祉健康部			
一般会計						担当課	長寿課			
款	項					目	担当係	高齢福祉係		
3	1					3				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援							
	目的	年金の受給資格の取れなかった外国人無年金者で一定の要件を満たす人に対し、特別給付金を支給し福祉の増進を図る。	主たる内容	大正15年4月1日以前に出生した外国人で、老齢福祉年金の所得基準を満たす人に対し、一月あたり1万円を支給する。						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市在日外国人特別給付金支給要綱							
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	平成6年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		受給者数：0人		受給者数：1人		受給者数：1人		事業の性質上、計画・目標値は未設定。		
成果		市民日より等で事業の周知を行った。								
課題		大正15年4月1日以前に出生した外国人で、1年以上刈谷市に住んでいる者が対象となっており、今後申請があるか不明。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標	在日外国人特別給付金受給者数（人）		0	1	1	—	—			
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	90	120	120	合計	120,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	扶助費	120,000 円		
		一般財源	0	90	120	120				
	職員人件費 ②		23	299	303	303				
	総事業費（①+②）		23	389	423	423				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			高齡者緊急一時保護居室確保事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	高齡福祉係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齡者福祉						
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実						
	目的	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッドをあらかじめ確保することで、高齡者虐待等における被虐待者の緊急一時保護に対応する。		主たる内容	特別養護老人ホームのショートステイ用のベッド2床を365日確保する。				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	高齡者虐待の防止、高齡者の養護者に対する支援に関する法律 老人福祉法						
		対象者			事業期間	平成30年度～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 8件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 8件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行った。 緊急一時保護件数 7件		・特別養護老人ホームショートステイ用のベッド2床を年間を通して確保し、虐待等における高齡者の一時保護を行う。	
成果		虐待等高齡者の緊急一時保護に迅速に対応できた。							
課題		緊急一時保護の居室の場所の確保を今後どのようにしていくか、検証する必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	緊急一時保護居室確保数（床）		2	2	2	2	2		
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		4,488	4,417	4,591	4,774	合計		4,590,729 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	使用料及び賃借料		
		一般財源	4,488	4,417	4,591	4,774	4,590,729 円		
	職員人件費 ②		616	821	833	833			
	総事業費（①+②）		5,104	5,238	5,424	5,607			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			はいかい高齢者個人賠償責任保険事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	高齢福祉係	
3	1	3							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	認知症等によるはいかいにより、鉄道事故等を起こす可能性のある高齢者を対象に、市がはいかい高齢者個人賠償責任保険に加入することにより、本人及び家族の損害賠償の負担軽減を図る。	主たる内容	行方不明高齢者等SOSネットワークに登録した人のうち、保険加入希望者を対象に、市が一括して保険加入する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	刈谷市行方不明高齢者等SOSネットワーク事業実施要綱						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	令和元年度 ~			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 59人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 119人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 125人		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数 160人	
成果		認知症等によるはいかいにより鉄道事故等を起こす恐れのある高齢者を対象に、市でははいかい高齢者個人賠償責任保険に一括で加入することにより、本人及びその家族の損害賠償負担軽減を図ることができた。							
課題		日常的にははいかいの恐れのある高齢者に対し、行方不明高齢者等SOSネットワークを含めさらなる加入促進を行う必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		はいかい高齢者個人賠償責任保険加入者数（人）			59	119	125	160	200
活動指標									
他市との比較検証		平成30年度に大府市、阿久比町で事業を開始し、平成31年度以降本市を含め事業が広まりつつある。							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		177	177	239	299	合計	238,950 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	238,950 円	
		一般財源	177	177	239	299			
	職員人件費 ②		616	597	606	606			
	総事業費（①+②）		793	774	845	905			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							



会計名		老人ホーム措置事業				担当部	福祉健康部		
一般会計						担当課	長寿課		
款	項					目	担当係	高齢福祉係	
3	1					3			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者世帯への生活支援						
	目的	原則として65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活することが困難な人が、自立した日常生活を営むために適切な支援が総合的に受けられるよう、養護老人ホーム等への入所措置、介護保険サービスの便宜を供与する措置等の積極的な実施に努める。	主たる内容	養護老人ホーム及び特別養護老人ホーム等（やむを得ない措置）被措置者の入所施設等に対し、措置に係る費用を支給する。  ※やむを得ない措置とは、事業者と契約をして介護サービスを利用することや、その前提となる市町村に対する要介護認定の申請を期待しがたい場合、又は高齢者虐待等により保護及び支援が必要と認められる場合をいう。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市老人福祉法施行細則、老人福祉法第28条の規定による費用徴収規則						
		対象者	※主たる内容に記載		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：25人 他市：5人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：22人 他市：8人 (年度末時点)		養護老人ホーム被措置者数 刈谷市：16人 他市：7人 (年度末時点)		老人福祉法上の措置であるため、計画・目標値は未設定。	
成果		居宅での生活が困難であった高齢者を養護老人ホームに入所させることで、高齢者が心身ともに健全な生活を送ることができた。							
課題		定員50名の施設であるが、半数が空き室である。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		養護老人ホーム被措置者数（人）			30	30	23	—	—
指標									
他市との比較検証		養護老人ホームを民間委託した事で、入居率が上がっている市（碧南市、高浜市、半田市他）がある。							
C 事業コスト V		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		77,183	79,837	64,844	85,571	合計	64,844,443 円	
	財源	特定財源	65,538	63,786	47,859	66,296	報償費	40,000 円	
		一般財源	11,645	16,051	16,985	19,275	扶助費	64,804,443 円	
	職員人件費 ②		2,619	3,061	3,104	3,106			
	総事業費（①+②）		79,802	82,898	67,948	88,677			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		老人ホーム扶養義務者負担金 老人ホーム被措置者負担金 老人ホーム入所者措置収入					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護サービス利用者負担等軽減事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護認定給付係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	低所得の高齢者であっても必要な介護サービスが利用できるように支援する。			主たる内容	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成 市民税非課税世帯の人で、前年収入や預貯金等が一定額以下などの要件を満たす人へ、居宅サービス等の介護サービス費の利用者負担額の1/2を助成する。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助 対象サービスの介護サービス費、食費、居住費等を軽減した社会福祉法人等へ、軽減額から本来受領すべき利用者負担額の1%を控除した額の1/2を補助する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	刈谷市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業実施要綱 他							
	対象者	※主たる内容に記載			事業期間	平成12年度～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		①助成人数	14人	①助成人数	15人	①助成人数	15人	①助成人数	20人
助成額		424,412円	助成額	617,885円	助成額	486,677円	助成額	890,000円	
②補助法人数		3法人	②補助法人数	3法人	②補助法人数	2法人	②補助法人数	3法人	
補助額		865,000円	補助額	591,000円	補助額	554,000円	補助額	1,707,000円	
成果	生活の維持が困難な低所得の高齢者であっても、必要な介護保険サービスを利用することができた。								
課題	市民及び法人へ制度の周知を図ること。								
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成人数（人）			14	15	15	20	20
活動指標	②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助額（円）			865,000	591,000	554,000	1,707,000	1,707,000	
他市との比較検証	①介護保険居宅サービス等利用者負担額助成は、対象条件や助成割合が異なるが、県内では18保険者が実施している。 ②社会福祉法人等による生活困難者等に対する利用者負担軽減制度事業費補助は、概ね全国の保険者が実施している。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,289	1,209	1,041	2,623	合計 1,040,677 円		
	財源	特定財源	648	443	415	1,298	負担金、補助及び交付金 554,000 円		
		一般財源	641	766	626	1,325	扶助費 486,677 円		
	職員人件費 ②		231	224	227	227			
	総事業費（①+②）		1,520	1,433	1,268	2,850			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		福祉法人等サービス利用軽減事業費補助金（県）					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			ケアプラン指導研修事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護認定給付係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護支援専門員（ケアマネジャー）のスキルアップを図り、高齢者が適切なケアプランのもとで介護保険サービスを利用できるようにする。			主たる内容	介護支援専門員を対象に、ケアマネジメントリーダー等によるケアプランの事例調査・指導・作成技術向上のための研修を行う。			
	位置づけ	関連計画 刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	介護保険法						
		対象者	市内介護支援専門員		事業期間	平成18年度～			
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
BDO 事業実績 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
	ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 (2回とも中止)		ケアプラン指導研修会 2回		ケアプラン指導研修会 2回		
	成果	介護支援専門員のケアプラン作成技術の向上が図られたことで、適切なケアプランに基づく高齢者のサービス利用に繋がった。							
	課題	介護支援専門員のニーズと課題を把握し、参加意欲を高める研修プログラムの作成や周知方法の工夫が必要である。参加ができない場合でも、研修資料の周知を行う。							
	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					元年度	2年度	3年度	4年度	6年度
	活動指標	開催数（回）			2	0	2	2	2
	成果指標	延参加人数（人）			89	0	56	72	72
他市との比較検証	刈谷市独自の事業である。								
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		6	0	0	29	合計 0円		
	財源	特定財源	0	0	0	0			
		一般財源	6	0	0	29			
	職員人件費 ②		77	75	76	76			
	総事業費（①+②）		83	75	76	105			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			介護施設大規模修繕費補助事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	既存介護施設に対して老朽化に伴う大規模修繕に係る経費の支援を行うことにより、施設利用者等の安全性を確保する。			主たる内容	大規模修繕を行う事業所に対して、国の要綱に基づき補助金を支給する。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	根拠法令	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金実施要綱							
	対象者	介護サービス事業者			事業期間	令和3年度 ~ 令和3年度			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 課題 O 指標 A 実施	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		_____		_____		・補助件数 1件		_____	
成果		施設利用者の安全性を確保する観点から、老朽化に伴う大規模な修繕等を実施する事業所に対し、補助金を支給することで経費に対する支援を行った。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標	補助件数（件）			—	—	1	—	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	4,004	0	合計 4,004,000 円		
	財源	特定財源	0	0	4,004	0	負担金、補助及び交付金 4,004,000 円		
		一般財源	0	0	0	0			
	職員人件費 ②		0	0	76	0			
	総事業費（①+②）		0	0	4,080	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金（国）					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		感染管理認定看護師介護サービス事業所等				担当部	福祉健康部		
款	項	目	派遣事業				担当課	長寿課	
3	1	3					担当係	介護保険企画係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	介護サービスの充実						
	目的	介護施設等で実際に感染者が発生した場合における、感染管理認定看護師による相談体制を構築することで、感染者発生初期段階での感染拡大防止の徹底を図る。			主たる内容	事業所において感染者が発生した場合に、希望する事業所に感染管理認定看護師を派遣し、実際の現場において、感染拡大防止策についてアドバイスしてもらう。			
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
	位置づけ	根拠法令	刈谷市感染管理認定看護師派遣事業実施要綱						
	対象者	介護サービス事業者		事業期間	令和3年度 ~ 令和3年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		—		—		・認定看護師派遣回数 4回		※高齢者施設等感染症対策支援事業に移行	
成果		感染者が発生した事業所に対し、早期に感染管理認定看護師を派遣したことにより、感染者発生初期段階で対策の徹底を図ることができた。また、感染管理・予防に関する相談体制を構築することで感染の拡大を防ぐことができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
成果指標	感染管理認定看護師派遣回数（回）			—	—	4	—	—	
活動指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	0	20	0	合計	20,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	20,000 円	
		一般財源	0	0	20	0			
	職員人件費 ②		0	0	76	0			
	総事業費（①+②）		0	0	96	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			養護老人ホーム管理運営事業				担当部	福祉健康部	
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	6					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	老人福祉法に基づく、主に経済的な理由で居宅において生活することが困難な65歳以上の高齢者が入所するための施設で、入所者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導や訓練を行うことを目的とする。			主たる内容	○施設の管理運営			
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	老人福祉法、刈谷市ふれあいの里条例						
		対象者	※目的に記載		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・養護老人ホーム管理運営委託 ・物品の設置及び更新		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託		・養護老人ホーム管理運営委託	
成果		入所者の生活援助や社会参加の促進及び生活環境の整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動指標		刈谷市養護老人ホーム入所者数（人）			27	26	19	—	—
指標									
他市との比較検証		老人福祉法に基づいた行政の措置施設であるため、他市でも同様の事業を実施している。							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		86,099	95,224	97,423	92,109	合計	97,423,000 円	
	財源	特定財源	5,471	6,045	5,392	7,098	委託料	97,423,000 円	
		一般財源	80,628	89,179	92,031	85,011			
	職員人件費 ②		539	299	454	530			
	総事業費（①+②）		86,638	95,523	97,877	92,639			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		老人ホーム被措置者負担金 在宅老人短期保護手数料 老人ホーム入所者措置収入			
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			養護老人ホーム改修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	6					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	○居室洗面所の給湯設備設置工事 ○網戸設置工事				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者				事業期間	～			
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
				【工事】 室内トイレ手すり設置工事 食堂パーテーション設置工事		【修繕】 居室トイレの便座取替修繕 【工事】 居室洗面所の給湯設備設置等 工事 網戸設置工事		【工事】 居室洗面所の給湯設備設置等 工事 網戸設置工事		
成果		施設、設備の不具合箇所を改修することにより、容赦が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		0	1,737	6,939	1,900	合計	6,938,900 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,346,400 円		
		一般財源	0	1,737	6,939	1,900	工事請負費	5,592,500 円		
	職員人件費 ②		0	149	151	227				
	総事業費（①+②）		0	1,886	7,090	2,127				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名		ぬくもりプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部			
一般会計						担当課	長寿課			
款	項					目	担当係	管理係		
3	1					7				
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。	主たる内容	○施設の管理運営及び各種講座の開催						
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
			根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則						
		対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	平成13年度～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B D O A 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴室利用</li> <li>・マッサージ室利用</li> <li>・ふれあい交流室利用</li> <li>・講座の開催</li> </ul>		
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標	ぬくもりプラザ延べ利用者数（人）		43,444	18,509	31,360	55,000	—			
活動指標	うち浴室利用者数（人）		20,936	10,736	20,951	26,000	—			
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。									
C 事業コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		14,656	15,851	16,351	20,145	合計	16,351,432 円		
	財源	特定財源	608	549	594	703	報償費	258,000 円		
		一般財源	14,048	15,302	15,757	19,442	需用費	3,051,168 円		
	職員人件費 ②		539	299	454	530	役務費	26,000 円		
	総事業費（①+②）		15,195	16,150	16,805	20,675	委託料	12,455,551 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
5年度以降の事業費見込		0								
使用料及び賃借料				560,713 円						



会計名			生きがいセンター管理運営事業				担当部	福祉健康部	
一般会計							担当課	長寿課	
款	項	目					担当係	管理係	
3	1	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりの場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。		主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市シルバー人材センターに委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市高齢者生きがい施設条例、刈谷市高齢者生きがい施設条例施行規則						
		対象者	60歳以上の高齢者	事業期間	昭和62年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用		・高齢者市民講座の開催 ・講座室、多目的室等の利用	
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。							
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えつつある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標		高齢者市民講座参加者延人数（人）		4,183	1,701	2,870	4,800	—	
活動指標		生きがいセンター延べ利用者数（人）		18,126	8,003	12,758	21,000	—	
他市との比較検証		近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。							
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳	
	事業費 ①		18,620	18,147	19,028	22,235	合計	19,027,551 円	
	財源	特定財源	0	111	52	10	役務費	12,830 円	
		一般財源	18,620	18,036	18,976	22,225	委託料	16,793,821 円	
	職員人件費 ②		539	299	454	530	使用料及び賃借料	1,980,000 円	
	総事業費（①+②）		19,159	18,446	19,482	22,765	備品購入費	240,900 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料			
5年度以降の事業費見込		0							

会計名		高齡者交流プラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部			
一般会計						担当課	長寿課			
款	項					目	担当係	管理係		
3	1					7				
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齡者福祉							
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実							
	目的	高齡者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齡者福祉の向上を図るとともに、他人と共用する物品や複数の人の手が触れる場所の消毒作業を拡充すること等により、施設内での感染拡大の防止を図る。	主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。						
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則							
	対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成9年度～						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 実績 計画V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> <li>感染症対策特別清掃の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>大浴室利用</li> <li>講座の開催</li> <li>行事の開催</li> </ul>		
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標	高齡者交流プラザ延べ利用者数（人）		113,822	34,120	51,702	130,500	—			
活動指標	大浴室利用者数（人）		48,587	10,241	19,507	58,000	—			
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。									
C 事業 コスト	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		86,052	91,229	94,340	89,281	合計	94,340,366 円		
	財源	特定財源	175	0	1,895	10	役員費	73,588 円		
		一般財源	85,877	91,229	92,445	89,271	委託料	87,943,000 円		
	職員人件費 ②		539	299	454	530	使用料及び賃借料	3,147,293 円		
	総事業費（①+②）		86,591	91,528	94,794	89,811	備品購入費	1,281,500 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		施設賠償責任保険金収入 損害賠償責任者負担金						
5年度以降の事業費見込		0								
備品購入費		1,281,500 円		補償、補填及び賠償金					1,894,985 円	

会計名 一般会計			いきいきプラザ管理運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	高齢者福祉の拠点として、生きがいと健康づくりと交流の場を提供し、高齢者福祉の向上を図る。			主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画							
		根拠法令	刈谷市一ツ木福祉センター条例、刈谷市一ツ木福祉センター条例施行規則							
		対象者	60歳以上の高齢者		事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> <li>・空気清浄機の設置 1台</li> <li>・サーキュレーターの設定 1台</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> <li>・トレーニング機器の更新</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用</li> <li>・歩行プール利用</li> <li>・講座の開催</li> <li>・行事の開催</li> </ul>		
成果		利用者の生きがいと健康づくりの推進及び施設的环境整備を図ることができた。特に、更新計画に基づきトレーニング機器を更新し、利便性の向上を図ることができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
活動指標		指標名称（単位）		実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標	いきいきプラザ入館者数（人）		42,132	4,774	11,675	57,000		—		
活動指標	トレーニング室利用者数（人）		18,146	1,168	19,507	25,000		—		
他市との比較検証	近隣市においても福祉施設は整備されているが、本市の設備の充実度は高い。									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		32,238	37,563	33,354	32,454	合計	33,354,039 円		
	財源	特定財源	0	87	45	67	役務費	21,439 円		
		一般財源	32,238	37,476	33,309	32,387	委託料	32,292,000 円		
	職員人件費 ②		539	299	454	530	備品購入費	1,040,600 円		
	総事業費（①+②）		32,777	37,862	33,808	32,984				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
3年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターひまわり管理運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要なりハビリテーションや機能訓練を行い、その有する能力に応じて自立した在宅生活を営むことができるよう支援する。	主たる内容	施設の管理運営を指定管理者である刈谷市社会福祉協議会に委託する。					
	位置づけ	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画						
		根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則						
		対象者	介護保険法の規定に準じる		事業期間	平成9年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
		・送迎車用タイヤの更新設置 ・食器類の更新		洗濯機の更新		高さ調整機能付きテーブルの更新		・衣類乾燥機の設置 ・脱衣室扇風機の設置 ・送迎車の更新	
成果		物品の設置及び更新、不具合施設の修繕を実施することにより、安全で快適な環境を提供し、もって利用者の利便性向上及び高齢者福祉の増進を図ることができた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	老人デイサービスセンターひまわり実施日数（日）		285	293	291	293	—		
活動指標	老人デイサービスセンターひまわり利用者数（人）		6,720	6,987	6,231	6,800	—		
他市との比較検証									
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費①		353	93	268	14,825	合計	268,290円	
	財源	特定財源	0	0	79	0	備品購入費	268,290円	
		一般財源	353	93	189	14,825			
	職員人件費②		77	299	454	530			
	総事業費（①+②）		430	392	722	15,355			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
3年度までの累積事業費		0		高齢者福祉施設事業費寄附金					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計		老人デイサービスセンターなのはな管理運営事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課	
3	1	7					担当係	管理係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全						
		基本施策	高齢者福祉						
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実						
	目的	介護を必要としている高齢者に対して必要 なりハビリテーションや機能訓練を行い、そ の有する能力に応じ自立した在宅生活を営む ことができるよう支援する。				主たる 内容	○施設の管理運営 ○コロナ対策消耗品の購入		
	位置づけ								
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者					事業期間	～		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画	
—		—		・コロナ対策消耗品の購入		—			
成果									
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
活動 指標									
活動 指標									
他市との 比較検証									
C 事業 コスト		単位：千円		元年度 （決算）	2年度 （決算）	3年度 （決算）	4年度 （予算）	3年度 事業費内訳	
	事業費 ①		0	0	289	1,480	合計	289,000 円	
	財 源	特定財源	0	0	0	10	需用費	280,700 円	
		一般財源	0	0	289	1,470	役務費	8,300 円	
	職員人件費 ②		0	0	454	530			
	総事業費（①+②）		0	0	743	2,010			
	建設 事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0					
5年度以降の事業費見込		0							

会計名			ぬくもりプラザ改修事業				担当部	福祉健康部		
一般会計							担当課	長寿課		
款	項	目					担当係	管理係		
3	1	7								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	○浴場改修工事			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者					事業期間	～			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機取替工事</li> <li>浴場ろ過装置修繕</li> <li>消火栓ホース取替修繕</li> </ul>		無線チャイム設置工事		浴室改修に係る設計委託		浴場改修工事				
成果		施設、設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標										
活動指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,341	100	2,310	0	合計		2,310,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料		2,310,000 円	
		一般財源	1,341	100	2,310	0				
	職員人件費 ②		0	149	151	758				
	総事業費（①+②）		1,341	249	2,461	758				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称				
		3年度までの累積事業費		0						
5年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			生きがいセンター改修事業				担当部	福祉健康部			
款	項	目					担当課	長寿課			
3	1	7					担当係	管理係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全								
		基本施策	高齢者福祉								
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実								
	目的	施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持する。				主たる内容	○高圧受変電設備改修工事				
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令										
	対象者					事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	BDO 事業実績 計画 実施 V	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画			
		駐車場改修工事		駐車場出入口改修工事		高圧受変電設備改修工事					
成果		施設の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。									
課題											
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度			
活動指標											
活動指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳			
	事業費 ①		0	600	1,362	9,560	合計		1,361,800 円		
	財源	特定財源	0	0	0	9,560	需用費		470,800 円		
		一般財源	0	600	1,362	0	工事請負費		891,000 円		
	職員人件費 ②		0	149	151	758					
	総事業費（①+②）		0	749	1,513	10,318					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		3年度特定財源名称					
		3年度までの累積事業費		0							
5年度以降の事業費見込		0									

会計名			高齡者交流プラザ改修事業	担当部	福祉健康部
一般会計				担当課	長寿課
款	項	目		担当係	管理係
3	1	7			

PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	福祉安全				
		基本施策	高齡者福祉				
		施策の内容	高齡者福祉施設の充実				
	目的	施設の不具合箇所を改修・補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。	主たる内容	○修繕 天井扇取替修繕 自動制御器等取替修繕 ○工事 空調設備改修工事 エレベーター改修工事			
	位置づけ	関連計画		刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齡者福祉計画			
			根拠法令	刈谷市ふれあいの里条例、刈谷市ふれあいの里条例施行規則			
		対象者	60歳以上の高齡者	事業期間	平成28年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他				

B D O 実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
	【修繕】 水質コントローラー修繕 冷温水一次ポンプ修繕 天井扇取替修繕 排水ポンプ取替修繕 【工事】 東側駐車場改修工事 事務室エアコン設置工事		【修繕】 真空式温水器部品取替修繕他 【工事】 空調設備取替工事 監視カメラ設置工事 自転車置場補修工事		【修繕】 天井扇取替修繕 自動制御器等取替修繕 【工事】 空調設備改修工事 エレベーター改修工事		【修繕】 自家発電設備修繕 老人浴槽用設備修繕 西側ロータリー歩道修繕 【工事】 屋上改修工事 空調設備改修工事		
	成果	施設・設備の不具合箇所を改修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することができた。							
	課題	施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。							
	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度	
	成果指標	修繕等箇所数（か所）		4	6	6	5	—	
	成果指標	修繕等進捗率（%）		100	100	100	100	—	
他市との比較検証									

C 事業コスト	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳		
	事業費 ①	8,845	9,572	123,736	133,070	合計	123,735,600 円	
	財源	特定財源	0	0	58,000	63,000	需用費	5,673,800 円
		一般財源	8,845	9,572	65,736	70,070	工事請負費	118,061,800 円
	職員人件費 ②	308	149	151	758			
	総事業費（①+②）	9,153	9,721	123,887	133,828			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称			
		3年度までの累積事業費		0	公共施設維持保全基金繰入金			
5年度以降の事業費見込		0						



会計名 一般会計			ぬくもりプラザ補修事業				担当部	福祉健康部		
款	項	目					担当課	長寿課		
3	1	7					担当係	管理係		
PLAN 事業概要 計画 位置づけ	総合計画 施策体系	分野	福祉安全							
		基本施策	高齢者福祉							
		施策の内容	高齢者福祉施設の充実							
	目的	施設の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全、快適に利用できる環境を維持する。			主たる内容	○浴場ろ過装置水質コントローラー取替修繕				
	関連計画	刈谷市介護保険事業計画・刈谷市高齢者福祉計画								
	根拠法令	刈谷市南部福祉センター条例、ぬくもりプラザ処務規則								
	対象者	施設利用者			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績	元年度実績		2年度実績		3年度実績		4年度計画		
		—		—		・浴場ろ過装置水質コントローラー取替修繕		—		
成果		施設・設備の不具合箇所を補修することにより、利用者が安全かつ快適に利用できる環境を維持することができた。								
課題		施設の老朽化により、修繕の必要な箇所が増えてきている。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				元年度	2年度	3年度	4年度	6年度		
活動指標	修繕等箇所数（か所）			—	—	1	—	—		
活動指標	修繕等進捗率（％）			—	—	100	—	—		
C 事業コスト	他市との比較検証									
	単位：千円	元年度（決算）	2年度（決算）	3年度（決算）	4年度（予算）	3年度事業費内訳				
財源	事業費 ①	0	0	1,293	0	合計		1,292,500 円		
	特定財源	0	0	0	0	需用費		1,292,500 円		
	一般財源	0	0	1,293	0					
	職員人件費 ②	0	0	151	0					
	総事業費（①+②）	0	0	1,444	0					
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	3年度特定財源名称						
	3年度までの累積事業費		0							
	5年度以降の事業費見込		0							